

令和5（2023）年度 Tokyo Artist Accelerator Program 公募ガイドライン

「Tokyo Artist Accelerator Program（TAAP）」は、
アート市場での活躍を希望する美術・映像分野の
若手アーティストを支援するプログラムです。

● 募集期間：

2023年10月16日（月）14時から

2024年1月12日（金）17時まで

● 支援期間：

2024年4月から2024年11月まで（予定）

● アーツカウンシル東京とは

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。

Tokyo Artist Accelerator Program に関するお問合せ先

Tokyo Artist Accelerator Program（TAAP）事務局

Tokyo Artist Accelerator Program ホームページ お問合せフォーム: <https://taap.art/contact/>

目次

1.	概要	2
2.	応募対象となる分野・アーティスト	2
3.	応募対象とならない分野・アーティスト	3
4.	選考の観点	3
5.	支援の内容	4
6.	選考委員及びメンター	5
7.	選考のプロセス	6
8.	応募受付期間	7
9.	応募手順・応募書類	7
10.	応募上の注意	9
11.	個人情報の取扱い	10
12.	支援アーティスト決定後の対応について	10
13.	お問合せ先	10

1. 概要

「Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP)」は、アート市場での活躍を希望する美術・映像分野の若手アーティストを支援するプログラムです。

アーティスト自身によって作品を語るプレゼンテーションに焦点をあて、作品を語る力の向上とコンセプト強化の両面からサポートします。

選考を経た支援アーティストへ、自由度の高い制作支援金を支給するとともに、現代アートの多様なスペシャリストと 8 ヶ月にわたる継続的なメンタリングを実施し、国内外の現代アート関係者へ向けてスピーチする機会を創出することで、東京を起点とする若手アーティストの国際的な飛躍を支援します。

2. 応募対象となる分野・アーティスト

(1) 対象分野

美術・映像

- 平面（絵画、版画、写真等）
- 立体（工芸を含む）
- 映像（アニメーションを含む）

(2) 対象アーティスト

次の各項目に掲げる要件をすべて満たしていること。

- ①日本在住で東京のアート市場での活躍を希望する個人
- ②次年度中（2024年4月～11月）実施する交流会、中間報告会、プレゼンテーションに至るメンタリングと発表の機会に参加可能であること。
- ③日本語でのコミュニケーションが可能であること。（日本語能力試験 JLPT：N2 相当）
- ④対象分野において、都内で作品を公開（個展等）する活動を初めて実施してから3年以上10年未満であること。または、都内で作品を公開（個展等）する活動実績が5回以上10回以内であること。

※東京都内において申請者の作品だけで構成して開催した展覧会のみを対象とします。

※個人名が冠された展覧会でなくても可能ですが、グループ展（二人以上が参加する展覧会）ではなく、個人が制作した作品が展示されたものを指します。

※バーチャル展覧会、オンライン展覧会は対象となりません。

3. 応募対象とならない分野・アーティスト

(1) 対象とならない分野

○演劇、舞踊などの舞台芸術

○建築

(2) 対象とならないアーティスト

① 海外に在住している者

※日本に居住していることを確認するため、本選考の際に居住確認書類（個人番号カード〈マイナンバーカード〉、運転免許証、各種福祉手帳、R6年の11月以降が期限の在留カード、特別永住者証明書、健康保険証＋住民票）を確認させていただきます。

② 対象分野における都内での活動実績が、条件を満たさない者

例：都内で作品を公開（個展等）する活動を初めて実施して3年未満で個展回数が5回未満（あるいは11回以上）の方

都内で作品を公開（個展等）する活動実績が10年以上で個展回数が5回未満（あるいは11回以上）の方

③ グループで活動しているアーティスト

※個人として応募する場合は、対象となります。

④ 暴力団員等（東京都暴力団排除条例〔平成23年東京都条例第54号。以下「暴排条例」という。〕第2条第3号に規定する暴力団員及び同条第4号に規定する暴力団関係者をいう。以下同じ。）のもの

4. 選考の観点

選考にあたっては、以下のア～エの観点を重視し、選考委員が総合的に審議し、支援アーティストを決定します。

ア 飛躍の可能性がある提案

・提案作品に世界的なアートの潮流や市場で通用する可能性があり、自身が語るアーティストとしての目的や目標と創作活動に整合性がある。

イ 独自性のある提案

・アーティストとして自身の唯一性の所在を自覚し、なぜ自身が制作するかという問いに答えられており、世界の美術史・美術思潮の中で自身を位置づける視点がある。

ウ 現在性のある提案

- ・現在活動するアーティストであることを自覚し、なぜいま制作するかという問いに答えられており、同時代的な視点から自身を位置づけている。

エ 説得力がある提案

- ・プレゼンテーション方法と提案内容に整合性があり、用いられている言葉がわかりやすく、多くの人が内容を理解できることが想定できる。

5. 支援の内容

本選考により選出され、本事業への参加を承諾した支援アーティストに対して、下記のとおり支援を行います。

(1) 制作支援金の支給

創作活動やリサーチ等ご自由に活用できる制作支援金が支給（2023年3月予定）されます。

制作支援金：495,000円

(2) プレゼンテーションを軸に実施するメンタリング・プログラム

ギャラリストやアーティスト、コレクター、キュレーターら多様な背景を持つ現代アートのスペシャリストによって構成される選考委員及びメンターと継続的な対話を実施します。支援アーティストのプレゼンテーションを軸に「プレゼンテーション⇒アドバイス⇒メンタリング⇒プレゼンテーション」を8ヶ月にわたって繰り返すことで、作品を語る力の向上とコンセプト強化を促し、支援アーティストの成長を後押しします。メンタリングの中では、国内外の芸術文化関係者とのネットワーキングもサポートします。メンタリング・プログラムのスケジュール（予定）は以下の通りです。

2024年4月	選考委員・メンターと支援アーティストの交流会
4月～6月	メンタリング①
7月	第一回中間報告会
8月～9月	メンタリング②
10月	第二回中間報告会
10月	メンタリング③
11月	アートワーク・プレゼンテーション・ステージ（仮称）

○メンタリング

選考委員のアドバイスに基づいて、作品のコンセプトやプレゼンテーションを磨き上げるため、1回30分のメンタリングを2回/月実施します。なお、メンタリングはWeb会議ツールを使用し

でオンラインにて実施します。

メンター及びメンタリングの日時は、メンターと支援アーティストの予定を事務局が調整します。日時調整の都合により、ご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

※支援アーティストが利用する PC 及びインターネット環境は、支援アーティストの負担となります。

※国外に滞在していても実施可能です。

○中間報告会

7 月と 10 月（予定）に都内で実際にプレゼンテーションを行い、選考委員からアドバイスを受ける中間報告会を実施します。

※Web 参加ではなく、実際に出席することが必要です。

(3) アートワーク・プレゼンテーション・ステージ（仮称）の創出

2024 年 11 月（予定）に、東京で開催されるアートイベントの機会を捉え、国内外のギャラリストやコレクター、キュレーターを含むオーディエンスに向けて、支援アーティストが自身の力で作品について語るステージを創出します。

6. 選考委員及びメンター

選考委員（支援アーティストの選考及び中間報告会でのアドバイス）

上田 杏菜 （公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館 学芸員）

鷹野 隆大 （写真家／東京造形大学教授）

田口 美和 （タグチアートコレクション 共同代表

サンパウロ・ビエンナーレ インターナショナルアドバイザリーボードメンバー）

細井 眞子 （TARO NASU ギャラリー ディレクター）

山口 栄一 （一般社団法人アートパワーズジャパン 代表理事

公益財団法人経済同友会 スポーツとアートによる社会の再生委員会 委員長）

メンター（メンタリング・プログラムにおけるアドバイス）

天野 太郎 （東京オペラシティアートギャラリー チーフキュレーター）

粟田 大輔 （美術批評）

江幡 京子 （アーティスト／創形美術学校講師）

小林 真比古 （biscuit gallery 代表）

藤元 由記子 （株式会社ブックエンド代表取締役

NPO 法人アート＆ソサイエティ研究センター理事）

7. 選考のプロセス

(1) 一次選考（2024年1月～2月）

応募された書類（都内での作品公開〈個展等〉歴、作文、アートワーク・プレゼンテーション・データ）及び応募フォームに入力された情報に基づいて、選考を実施します。一次選考通過者は選考委員及びメンターによって選考します。

一次選考結果については、結果にかかわらず2024年2月中にメールにて通知を行います。通過者は、都内で実施される本選考において選考委員へ実際にプレゼンテーションを行っていただきます。メールの内容を熟読の上、本選考に備えてください。なお、本選考でのオンライン参加は認められません。メールに記載されている日時に指定の場所まで足をお運びください。

本選考を辞退される場合は、速やかにTAAP事務局へメールでご連絡ください。

(2) 本選考（2024年3月、3日間実施予定）

一次選考通過者は都内で開催する本選考において、選考委員に向けて、1人当たり10分間のプレゼンテーションを行っていただきます。ここでのプレゼンテーション及び応募書類に基づいて、選考委員が総合的に判断し、15名程度の支援アーティストを選出します。

本選考結果については、結果にかかわらず2024年3月中にメールにて通知を行います。通知に添付される参加承諾書の内容をよく確認いただき、承諾する場合はこれに署名し、メール添付にてご返送ください。参加承諾書の受理をもって、支援アーティストを決定します。

支援アーティストはTokyo Artist Accelerator Programのホームページ及びアーツカウンシル東京のホームページで公表します。（詳細は、12(1)を参照）

※本選考の様子はインターネット上にて配信する予定です。

※基本的に応募時と同じ内容でプレゼンテーションを実施していただきます。なお、プレゼンテーション・ツール（PowerPoint、Keynote等）の利用は可能です。応募したPDFと同内容であれば、アニメーション等のアレンジは可能です。ただし、プレゼンテーション時間（10分間）に変更はありませんので、ご注意ください。

※PDF以外での発表を希望する場合は、HDMI出力が可能な環境（ノートブックPC等）を応募アーティスト自身が持参する必要があります。

※参加承諾書は、2024年4月から実施されるメンタリング・プログラム及びアートワーク・プレゼンテーション・ステージ（仮称）へ参加することに承諾する内容です。

※選考結果の理由については、お答えしていません。

8. 応募受付期間

2023年10月16日（月）14時から

2024年1月12日（金）17時まで

※本システムの時刻は日本標準時です。

※受付期間を過ぎた応募は一切受け付けません。

※応募受付期間終了日はサーバーの混雑が予想されますので、期日に余裕をもってご提出ください。

9. 応募手順・応募書類

応募は、オンライン応募のみとなります。

応募にあたっては、ホームページ (<https://taap.art>) よりエントリーを行ってください。

(1) 応募手順

Step.1 公募ガイドラインの内容を確認

ホームページ (<https://taap.art>) Top ページ「エントリー」をクリックし、「公募ガイドラインはこちら」をクリックし、表示される PDF の内容を確認してください。

「様式はこちら」をクリックし、応募の際に使用する様式を確認してください。



Step.2 事前エントリー

エントリーページより、応募手順に沿って事前エントリーを行ってください。

TAAP 事務局より「応募フォームURLのご案内」のメールが届きます。もしも「応募フォームURLのご案内」のメールが届かない場合、お問合せフォームよりご連絡ください。

※まれに迷惑メールフォルダへ入っている場合がございますので、併せてご確認ください。

※メール受信制限をされている方は「@taap.art」を受信できるようにしてください。



Step.3 TAAP 応募フォームへアクセス

受信した「応募フォームURLのご案内」メールの URL から TAAP 応募フォームにアクセスしてください。



Step.4 TAAP 応募フォームから応募者情報の入力と応募書類を提出ください。

※詳細は「(2) TAAP 応募フォーム」を参照ください。

※「入力内容の確認」をクリック後、「以下の内容で送信してよろしいですか？」と表示される確認画面は、念のため、スクリーンショット等で保存されることをお勧めします。



Step.5 応募完了

エントリー完了メールが届きますと、応募書類の受理となります。

※まれに迷惑メールフォルダへ入っている場合がありますので、合わせてご確認ください。

※メール受信制限をされている方は「@taap.art」を受信できるようにしてください。

(2) TAAP 応募フォーム

TAAP 応募フォームにて、応募者情報を入力し、誓約事項等を確認の上、選択や同意を行ってください。併せて、アンケートにもご協力ください。

※応募者氏名、現住所はご自身で選択される居住確認書類と同様に入力してください。

※居住確認書類は、日本に居住していることを確認するため、本選考の際に書類を確認させていただきます。

(3) アップロードが必要な応募書類

ホームページより様式（2種）をダウンロードして作成ください。

① 都内での作品公開（個展等）歴（様式あり）

氏名、フリガナ、生年月日を記入し、対象アーティストの条件のどちらか（あるいは両方）に該当するかについて、□にチェックをしてください。

都内での作品公開（個展等）について、「開催期間、展覧会等の名称、会場名（住所）」を昇順（古い順）で記入してください。

※東京都内において申請者の作品だけで構成して開催した展覧会のみを対象とします。

※個人名が冠された展覧会でなくても可能ですが、グループ展（二人以上が参加する展覧会）ではなく、個人が制作した作品が展示されたものを指します。

※バーチャル展覧会、オンライン展覧会は対象となりません。

※開催期間の欄は年（西暦）、月、日の順で開始日と終了日を記入してください。

※会場名（住所）の欄は、ギャラリー等の会場名と（ ）内に会場のある区市町村を記入してください。

※ファイル名は「応募者氏名_公開歴」としてください。

※グループ展における公開歴があれば、参考としてタブで選択できる別シートに記載してください。

② 作文（様式あり）

応募者氏名、フリガナ、生年月日を記入し、以下のテーマをもとに作文を書いてください。（700字以上 800字以内）

アーティストとしてどのような未来像を描いているか、それに向けた自身の強みと弱みは何か。

※ファイル名は「応募者氏名_作文」としてください。

③ アートワーク・プレゼンテーション・データ

下記の条件に則した未制作の作品に関するアートワーク・プレゼンテーション・データを作成してください。

□ファイル形式：PDF

□データ容量：100MB 以内

※データは、下記の項目に沿って作成してください。（字数制限なし）

1 略歴：スライド1枚以内

2 アーティストとしての目的：スライド1枚以内

3 アーティストとして、自分が美術史上どの位置にいるか：スライド1枚以内

4 プレゼンテーションする作品は、現在のどのような問いに基づいているか：スライド1枚以内

5 プレゼンテーションの概要：スライド1枚以内（字数制限なし）

※項目を立てて記載。

6 作品のプレゼンテーション：スライド枚数上限なし

※試作の画像等の挿入可。

※映像分野を選択した場合に限り、MPEG の動画データをアップロード可能です。ただし、動画データについても 100MB 以内に収めてください。また、動画がある場合もプレゼンテーション時間は 10 分間です。この範囲を超えないよう注意してください。

10. 応募上の注意

・ 応募者氏名は、居住確認書類との照合に使用しますので、ご自身で選択された確認書類と同じお名前をご記入ください。

・ 同一人物からの応募は 1 回を基本とします。応募期間内であれば、既にアップロードしたファイルを更新するために複数回の応募は可能です。ただし、再応募の場合も作文やアートワーク・プレゼンテーション・データのみなど、部分的な応募はできません。応募フォームのすべての必須項目へ入力・選択等を行い、すべての応募書類をアップロードしてください。複数回の応募があった場合、最後に応募された情報に基づいて選考します。

・ 応募後切後に応募内容を変更することはできません。

・ 応募書類の返却はいたしかねます。

・ 応募に要する一切の費用（交通費・宿泊費等）は応募者の負担となります。

・ 分野の横断を含め、同一人物による複数書類の応募はできません。異なる作品で複数のプレゼンテーションを応募されていると判断されるような場合でも、最後に応募された応募書類を選考の対象とします。

・ 入力内容やアップロード書類は、ご自身で控えをとり保存してください。

11. 個人情報の取扱い

応募フォーム及び応募書類に記入された個人情報は、公益財団法人東京都歴史文化財団の個人情報の保護に関する規定に則り、適正に管理いたします。ただし、審査や事後評価等のため外部有識者や東京都に提供することがあります。また、支援アーティストの活動やアーツカウンシル東京の事業等に関するアンケートを送らせていただく場合があります。

12. 支援アーティスト決定後の対応について

以下の点について、応募前に必ずご確認ください。

- (1) 支援アーティスト決定結果・プレゼンテーション内容の公表
決定された支援アーティストについてアーティスト名、プレゼンテーションの概要等の情報を、Tokyo Artist Accelerator Program のホームページ及びアーツカウンシル東京ウェブサイト等の広報資料で公表します。
- (2) 支援アーティストの取消しについて
支援アーティスト決定に先立って承諾した内容（メンタリング・プログラムやアートワーク・プレゼンテーション・ステージ〈仮称〉への参加等）に反した場合、支援を取り消すとともに制作支援金の返還義務が発生する可能性があります。
- (3) 支援アーティスト決定後3年程度を目途に、活動状況等についてアンケート調査を行います。調査時にはご回答ください。

13. お問い合わせ先

Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP) 事務局

Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP) ホームページお問い合わせフォームより
お問い合わせください。 <https://taap.art/contact/>

※よくある質問は、ホームページのFAQにまとめていますので、ご参照ください。

<https://taap.art/faq/>